

令和5年度 三木市 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員： 6名
- 2 認知症地域支援推進員の役割
 - 認知症の人とその家族への相談支援
 - 地域と専門職を対象にした認知症についての研修の企画
 - 認知症カフェの推進
 - 認知症予防健診
 - 頭部の健康チェック（タッチパネル）による相談
 - 認知症予防教室の企画、教室OB会のフォロー
 - 認知症高齢者等の見守りSOSネットワーク
 - 認知症初期集中支援チームとの連携

標題 認知症の正しい理解を広めるための普及啓発活動

9月 世界アルツハイマーデー啓発

●世界アルツハイマーデーにちなんで、子どもから高齢者まで、さまざまな人へ認知症への正しい理解を広めるため、庁内放送を実施しました。

●市役所前オブジェをオレンジ色にライトアップ。
令和5年度は懸垂幕も作成し掲揚しました。

●三木駅のデジタルサイネージを活用し、周知を行いました。



三木市認知症ケアパス改訂版の発行

●新たに本人の声や若年性認知症についても掲載した“認知症あんしんガイドブック（認知症ケアパス）～認知症になっても安心して暮らせるまちをめざして～”を発行しました。

認知症サポーター養成講座



令和5年度は **275名** の認知症サポーターが誕生しました (累計6647名)

R6.3月末現在

対象者	人数
小学生	71名
大学生	98名
病院関係者	35名
施設関係者	16名
民生委員	10名
地域住民	45名

小学生から高齢者までさまざまな年代の方、さまざまな立場の方に認知症のことを正しく学んでいただくことで、地域の皆さんが認知症に対しての偏見をなくし、適切な対応ができるよう取り組んでいます。



参加者の声

困っている人を見つけたら手伝いたいです。

認知症を正しく知ることが大事だと感じました。

認知症になってもできることがたくさんあることを知りました。

「3つの“ない”」は心掛けています。



本人ミーティングプレ開催

本人ミーティングを
プレ開催しました。

実施日

- 第1回 令和5年11月8日（水） 6名参加
- 第2回 令和6年3月13日（水） 3名参加



第9期介護保険事業計画期間中の本格開催をめざしたプレ開催として、令和5年度は“もの忘れの気になる方”を対象に、担当者で何度もミーティングを重ねながら、2回開催しました。

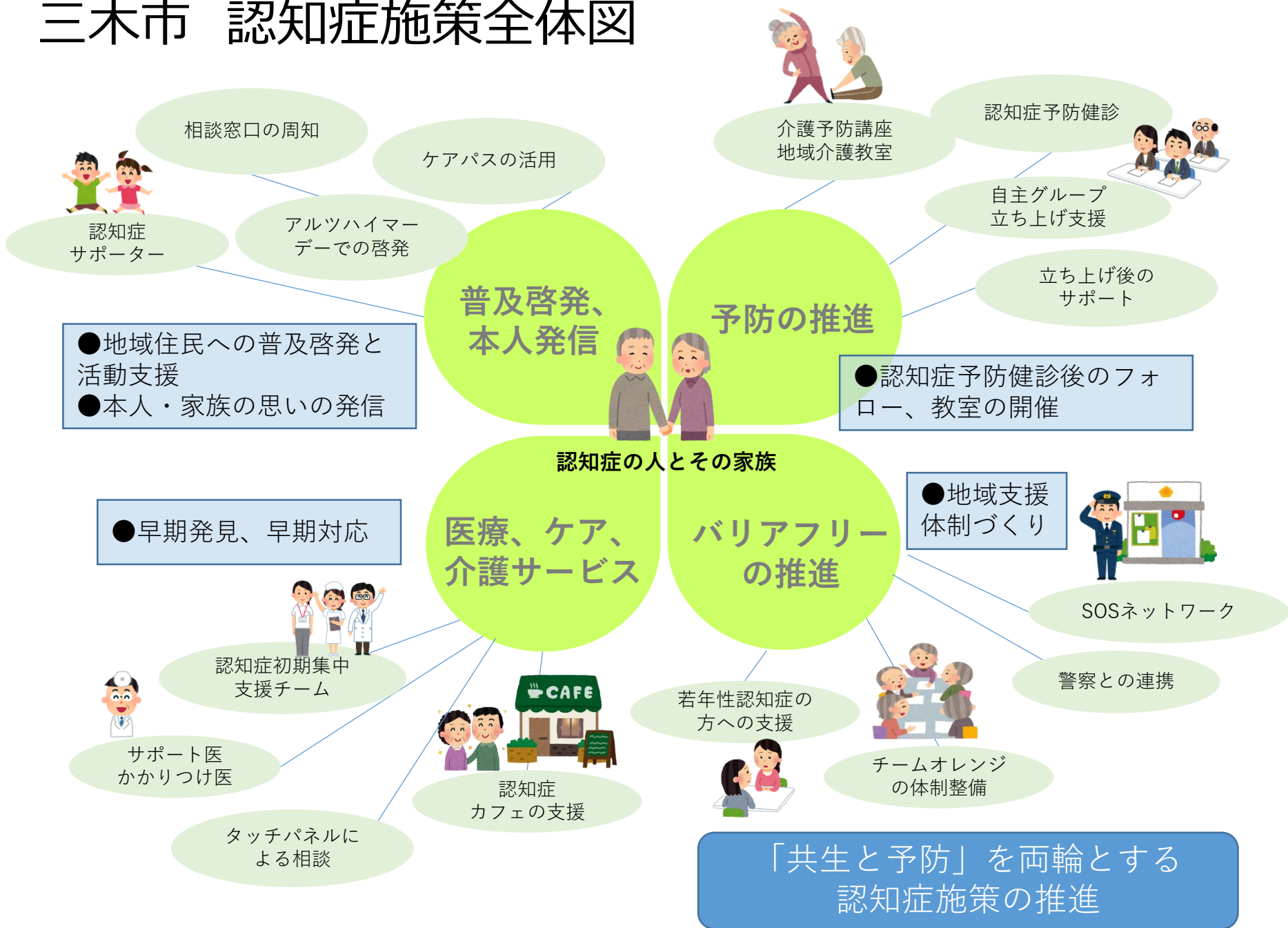
アイスブレイキングとして折り紙やぬりえなどのワークに取り組んだ後、フリートークの時間を設け、日ごろ思っていることや参加者各自のもの忘れ対策などで話が盛り上がりました。

また、困りごとや不安な思いを吐露した参加者に対し、別の参加者が寄り添う言葉かけをする場面も見られました。

このプレ開催を土台に、他市町の取り組みも研究しながら、本格開催に向けてどのように発展させていくか模索中です。



三木市 認知症施策全体図



最後に・・・

令和5年度もたくさんの認知症サポーターが誕生しました。地域のひとりひとりが認知症を正しく理解し、他人事としてではなく、『自分のこと』として受け止め、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう引き続き周知・啓発に取り組んでいきます。

また、令和5年度は新たな取り組みとして本人ミーティングをプレ開催しました。本格開催に向けて検討を重ねていきます。